安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:LUS-200 Magenta
品番	:LUS20-M-BA
Ink Ver.	:1
会社名	:株式会社ミマキエンジニアリング
住所	:長野県東御市滋野乙2182-3
担当部門	:技術本部
メールアドレス	:ink@mimaki.jp
電話番号	:0268-64-2413
FAX番号	:0268-64-5580
緊急時の電話番号	:0268-64-2281
	:公益財団法人　日本中毒情報センター　中毒110番
	＊一般市民専用電話
	(大阪)072-727-2499　365日　24時間対応
(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合)	(つくば)029-852-9999　365日　9～21時対応
	＊医療機関専用電話
	(大阪)072-726-9923　365日　24時間対応
	(つくば)029-851-9999　365日　9～21時対応
推奨用途及び使用上の制限	:UV硬化型インク、インクジェットプリンター用

2. 危険有害性の要約

〔GHS分類〕

物理化学的危険性

引火性液体	:区分外

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性	:区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:区分2A
皮膚感作性	:区分1
生殖毒性	:区分2
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	:区分2

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	:区分1

上記で記載が無いものは、分類できない、分類対象外

〔GHSラベル要素〕

絵表示

注意喚起語

警告

危険有害性情報

H315 皮膚刺激

安全データシート(SDS)

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319 強い眼刺激
H361 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い(呼吸器)
H373 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ
H400 水生生物に非常に強い毒性

注意書
[安全対策]
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260 ガス、ミストを吸入しないこと。
P264 取扱後は手、眼をよく洗うこと。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
[応急措置]
P314 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
P321 特別な処置が必要である。(SDS 4.応急措置要参照)
P362 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P391 漏出物を回収すること。
P302+P352 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと。
P305+P351+P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308+P313 暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。
[廃棄]
P501 内容、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し廃棄すること。

〔その他の危険有害性〕
・高温になると引火、燃焼する恐れがある
・皮膚刺激
・重篤な眼への刺激
・アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
・生態能または胎児への悪影響のおそれの疑い
・長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ
・水生生物に非常に強い毒性

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分 :混合物
成分及び含有量

成分名	含有量〔%〕	官報整理番号	CAS No.	備考
2-フェノキシエチル=アクリラート	25-35		48145-04-6	
イソボルニルアクリレート	25-35		5888-33-5	
ビニルモノマー	1.0-10		営業秘密	
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド	1.0-10		75980-60-8	

安全データシート(SDS)

テトラヒドロフルフリルアクリレート	1.0-10		2399-48-6	
ピグメントレッド122	1.0-10		980-26-7	
置換アミンオリゴマー	1.0-5.0		営業秘密	
2,4-ジエチルチオキサンテン-9-オン	1.0-5.0		82799-44-8	
アクリルモノマー	1.0-5.0		営業秘密	
安定剤	1.0-5.0		営業秘密	
分散剤	0.0-5.0		営業秘密	
脂肪族ウレタンアクリレート	1.0-5.0		営業秘密	

4. 応急措置

吸入した場合
・気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合
・付着物を布にて素早く拭き取る。
・大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
・外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
・汚染された衣類を取り除くこと。
目に入った場合
・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
・まぶたの裏まで完全に洗うこと。
・直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合
・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
・嘔吐物は飲み込ませないこと。
・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護
・適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。
・換気を行う。

5. 火災時の措置

消化剤
・炭酸ガス、泡、粉末、設備的に可能であれば水噴霧も可。
使ってはならない消化剤
・水(棒状水、高圧水)
特有の危険有害性
・火災の熱で密封している容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。
特有の消火方法、消火を行う者の保護
・異常な火災や爆発の危険性は考えられない。
・適切な保護具(耐熱性着衣等)を着用する。
・可燃性のものを周囲から取り除く。
・指定の消化剤を使用すること。

・高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
・消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
警告！
モーターは着火源となることがあるので漏洩場所の可燃性のガス又は蒸気を燃焼又は爆発させる可能性がある。
・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
・付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
環境に対する注意事項
・河川への排出等により、環境への影響を起さないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材
・ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。
・漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
・付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置すること。
・衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
・スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土等で流出を防ぐ。水での洗浄等も河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
・酸化剤との接触を避ける(塩素、クロム酸等)。
・換気の良い場所で取り扱う。
・周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
・作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
・工具は火花防止型のものを使用する。
・皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入ったりしないよう保護具を着用する。
・取扱い後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
・過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。
保管
・酸化剤から離して保管する。
・日光の直射を避ける
・通風の良いところに保管する。
・火気、熱源から遠ざけて保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

〔管理濃度、許容濃度〕

成分名	管理濃度	許容濃度(TLV)及び	備考

安全データシート(SDS)

	(厚生労働省)	出展先	
テトラヒドロフルフリル アクリレート (CAS No.2399-48-6)			TWA:0.1 ppm (0.64mg/m3)、STEL:0.3ppm(1.91 mg/m3) 事業者の判断
ビニルモノマー (営業秘密)			TWA:0.1 ppm(0.57 mg/m3) 事業者の判断

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA : 時間加重平均値
STEL : 短時間ばく露限界値
ppm : 百万分率
mg/m3 : ミリグラム/立方メートル
CEIL : 天井値

〔設備対策〕

・屋内作業の場合、作業者が直接暴露されない設備とするか、全体換気装置または、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。

〔保護具〕

呼吸器の保護具

・作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
有機ガスに適している半面形あるいは全面形送気マスク。
特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクの製造業者に相談する。

手の保護具

・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。
推奨される手袋の材質:樹脂ラミネート。

目の保護具

・取り扱いには保護メガネを着用すること。
推奨する眼の保護具:間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護

・取り扱う場合には、皮膚を直接曝露されないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
推奨保護具:ポリマーラミネート製エプロン

9. 物理的及び化学的性質

性状(状態、色)	:マゼンタ色液体
臭い	:アクリル臭
粘度	:0.02 Pa-s [試験条件 25 ℃]
pH	:データなし
沸点(初留点及び沸騰範囲)	:データなし
引火点	:95 ℃

安全データシート(SDS)

燃焼又は爆発範囲の上限下限	:データなし
蒸気圧	:データなし
蒸気密度	:データなし
比重(密度)	:1.08 g/cm3 [参照規格:水=1]
溶解度	:データなし
n-オクタノール/水分配係数	:データなし
自然発火温度	:データなし
分解温度	:データなし
その他	:情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性(危険有害反応可能性)
　安定
避けるべき条件
　熱
混触危険物質
　強酸化性物質
危険有害な分解生成物
　知見なし
その他の危険性情報
　この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。
　危険な重合が起こることがある。

11. 有害性情報

〔眼に入った場合〕
激しい眼への刺激:症状には発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害を含むことがある。

〔皮膚に付着した場合〕
皮膚刺激:症状は発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水泡、ひび、痛みを含むことがある。
アレルギー性皮膚反応(光反応以外)を起こす可能性がある(症状は発赤、腫脹、水疱形成、かゆみを含むことがある)。

〔吸入した場合〕
気道刺激:症状は咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みを含むことがある。
吸入すると特定の臓器に障害を及ぼすおそれがある。

〔飲み込んだ場合〕
飲み込むと有害の恐れ。
胃腸管組織が刺激される可能性がある(症状は腹痛、むかつき、吐き気、嘔吐、下痢を含むことがある)。

〔標的臓器への影響〕
長時間又は反復ばく露した場合:
吸入作用:症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。頻脈、皮膚蒼白(チアノーゼ)、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。

安全データシート(SDS)

〔生殖毒性〕
出生異常ないし他の生殖障害を引きおこす可能性のある化学物質または化学物質の混合物を含有する。

〔急性毒性〕

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		分類にデータが利用できない、あるいは不足している:ATEで計算。3,861.2mg/kg
イソボルニルアクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
イソボルニルアクリレート	経口摂取	ラット	LD50 4,350 mg/kg
2-フェノキシエチル=アクリラート			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
テトラヒドロフルフリルアクリレート			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ピグメントレッド122	皮膚	ラット	LD50 > 3,000 mg/kg
ピグメントレッド122	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ビニルモノマー	経口摂取	ラット	LD50 1,400 mg/kg
アクリルモノマー	経口摂取	ラット	LD50 15,400 mg/kg
2,4-ジエチルチオキサンテン-9-オン			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
置換アミンオリゴマー			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

ATE=推定急性毒性

〔皮膚腐食性/刺激性〕

名称	生物種	値又は判定結果
イソボルニルアクリレート	ウサギ	わずかな刺激
2-フェノキシエチル=アクリラート		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
テトラヒドロフルフリルアクリレート		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド	ウサギ	刺激性なし
ピグメントレッド122	ウサギ	刺激性なし
ビニルモノマー	ウサギ	わずかな刺激
アクリルモノマー	ウサギ	刺激性なし
2,4-ジエチルチオキサンテン-9-オン		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
置換アミンオリゴマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

〔眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性〕

名称	生物種	値又は判定結果
イソボルニルアクリレート	ウサギ	軽度の刺激
2-フェノキシエチル=アクリラート		分類にデータが利用できない、あるい

安全データシート(SDS)

		は不足している。
テトラヒドロフルフリルアクリレート		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド	ウサギ	刺激性なし
ピグメントレッド122	ウサギ	刺激性なし
ビニルモノマー	ウサギ	激しい刺激
アクリルモノマー	ウサギ	軽度の刺激
2,4-ジエチルチオキサンテン-9-オン		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
置換アミンオリゴマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

〔呼吸器感作性又は皮膚感作性〕
皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
イソボルニルアクリレート		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
2-フェノキシエチル=アクリラート		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
テトラヒドロフルフリルアクリレート		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ピグメントレッド122	非該当	感作性なし
ビニルモノマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
アクリルモノマー	モルモット	感作性あり
2,4-ジエチルチオキサンテン-9-オン		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
置換アミンオリゴマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
イソボルニルアクリレート		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
2-フェノキシエチル=アクリラート		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
テトラヒドロフルフリルアクリレート		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ピグメントレッド122		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ビニルモノマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

安全データシート(SDS)

アクリルモノマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
2,4-ジエチルチオキサンテン-9-オン		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
置換アミンオリゴマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

〔生殖細胞変異原性〕

名称	経路	値又は判定結果
イソボルニルアクリレート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
2-フェノキシエチル=アクリラート		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
テトラヒドロフルフリルアクリレート		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド	In vitro	変異原性なし
ビニルモノマー	In vitro	変異原性なし
アクリルモノマー	In vitro	変異原性なし
2,4-ジエチルチオキサンテン-9-オン		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
置換アミンオリゴマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

〔発がん性〕

名称	経路	生物種	値又は判定結果
イソボルニルアクリレート			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
2-フェノキシエチル=アクリラート			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
テトラヒドロフルフリルアクリレート			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ピグメントレッド122			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ビニルモノマー			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
アクリルモノマー			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
2,4-ジエチルチオキサンテン-9-オン			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
置換アミンオリゴマー			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

〔生殖毒性〕
生殖発生影響

安全データシート(SDS)

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソボルニルアクリレート		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
2-フェノキシエチル=アクリラート		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
テトラヒドロフルフリルアクリレート		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 100 mg/kg/day	90日
ピグメントレッド122		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ビニルモノマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
アクリルモノマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
2,4-ジエチルチオキサンテン-9-オン		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
置換アミンオリゴマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			

〔特定標的臓器/全身毒性-単回ばく露〕

名称	経路	標的臓器への効果	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソボルニルアクリレート	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	公的な分類	NOAEL 非該当	
2-フェノキシエチル=アクリラート			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
テトラヒドロフルフリルアクリレート			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ピグメントレッド122			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ビニルモノマー	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 非該当	
アクリルモノマー	吸入した場	呼吸器への	呼吸器への刺激のお	公的な	刺激 陽	

安全データシート(SDS)

	合	刺激	それ。	分類	性	
2,4-ジエチルチオキサンテン-9-オン			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
置換アミンオリゴマー			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			

〔特定標的臓器/全身毒性-反復ばく露〕

名称	経路	標的臓器への効果	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソボルニルアクリレート			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
2-フェノキシエチル=アクリラート			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
テトラヒドロフルフリルアクリレート			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	経口摂取	皮膚 | 血液 |肝臓 |腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90日
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド	経口摂取	神経系	全て陰性	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90日
ピグメントレッド122			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ビニルモノマー	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 0.006 mg/l	90日
ビニルモノマー	吸入した場合	血液 | 肝臓 |腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 0.18 mg/l	90日
ビニルモノマー	吸入した場合	眼	全て陰性	ラット	NOAEL 0.18 mg/l	90日
ビニルモノマー	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 260 mg/kg/day	3月
アクリルモノマー			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
2,4-ジエチルチオキサ			分類にデータが利用で			

安全データシート(SDS)

ンテン-9-オン			きない、あるいは不足している。			
置換アミンオリゴマー			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			

〔吸引性呼吸器有害性〕

名称	値又は判定結果
イソボルニルアクリレート	吸入毒性はない。
2-フェノキシエチル=アクリラート	吸入毒性はない。
テトラヒドロフルフリルアクリレート	吸入毒性はない。
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド	吸入毒性はない。
ピグメントレッド122	吸入毒性はない。
ビニルモノマー	吸入毒性はない。
アクリルモノマー	吸入毒性はない。
2,4-ジエチルチオキサンテン-9-オン	吸入毒性はない。
置換アミンオリゴマー	吸入毒性はない。

〔その他の有害性情報〕
情報なし

12. 環境影響情報

一般注意事項
漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
生態毒性
水性毒性(急性)
GHS急性1:水生生物に非常に強い毒性。

水性毒性(慢性)
GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。
製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
アクリルモノマー	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	57 mg/l
イソボルニルアクリレート	5888-33-5	ファットヘッドミノウ(魚)	推定値	96 時間	LC50	1.598 mg/l
イソボルニルアクリレート	5888-33-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1 mg/l
2ーフェノキシエチル=アクリラート	48145-04-6	ファットヘッドミノウ(魚)	推定値	96 時間	LC50	2.28 mg/l
ビニルモノマー	営業秘密	藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l

安全データシート(SDS)

ビニルモノマー	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
ビニルモノマー	営業秘密	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	318 mg/l
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド	75980-60-8		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
2-フェノキシエチル=アクリラート	82799-44-8		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ピグメントレッド122	980-26-7		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
置換アミンオリゴマー	営業秘密		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
テトラヒドロフルフリルアクリレート	2399-48-6		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
イソボルニルアクリレート	5888-33-5	推定値 光分解		光分解半減期(空気中)	1.45 日(t 1/2)	別法
置換アミンオリゴマー	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド	75980-60-8	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	<20 濃度(あるいは含有率)	OECD 301F
アクリルモノマー	営業秘密	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	27 濃度(あるいは含有率	OECD 301F
テトラヒドロフルフリルアクリレート	2399-48-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ピグメントレッド122	980-26-7	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 濃度(あるいは含有率)	OECD 301C-MITI(1)
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド	82799-44-8	モデル 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	13 濃度(あるいは含有率)	OECD 301F
2ーフェノキシエチル=アクリラート	48145-04-6	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	83.6 濃度(あるいは含有率)	OECD 301F

安全データシート(SDS)

ビニルモノマー	営業秘密	実験 生分解性	28 日	DOC(溶存有機炭素)残留量	30 濃度(あるいは含有率)	OECD 301A - DOC Die Away 試験
イソボルニルアクリレート	5888-33-5	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	73 濃度(あるいは含有率)	OECD 301D -クローズドボトル法
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド	75980-60-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ピグメントレッド122	980-26-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
置換アミンオリゴマー	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
テトラヒドロフルフリルアクリレート	2399-48-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ビニルモノマー	営業秘密	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	3.0	推定値:生態濃縮係数
2,4-ジエチルチオキサンテン-9-オン	82799-44-8	モデル 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	6.16	POW 分配係数
2-フェノキシエチル=アクリラート	48145-04-6	推定値 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	2.46	POW 分配係数
アクリルモノマー	営業秘密	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	232	推定値:生態濃縮係数
イソボルニルアクリレート	5888-33-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	2.4	別法

生態蓄積性
　試験データはない。
土壌中の移動性
　混合物としてのデータがない
オゾン層への有害性
　混合物としてのデータがない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物
・廃インク、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
・容器、機器装置を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

汚染容器及び包装
・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

安全データシート(SDS)

・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

14. 輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国連番号 (UN No.)	:3082
国連輸送名 (Proper Shipping Name)	:環境有害物質(液体)
クラス (Class)	:9
容器等級 (Packing Group)	:Ⅲ

〔国内規制〕

陸上規制情報	:消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上規制情報	:船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空規制情報	:航空法の定めるところに従うこと。

〔国際規制〕

海上規制情報	:IMO/IMDG の規定に従うこと。
航空規制情報	:ICAO/IATA の規定に従うこと。

15. 適用法令

消防法	:第四類 第三石油類 (非水溶性)
毒物および劇物取締法	:該当なし
労働安全衛生法	:該当なし
化学物質管理促進法	:該当なし

16. その他の情報

参考文献
国際化学物質安全性カード(ICSC) 日本語版

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂致します。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた使用以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。